



立命館大学
父母教育後援会だより

INDEX

巻頭特集

父母がめぐる

秋のキャンパス

— 学園祭 2013 — …… 3

秋の学部別懇談会をめぐる… 8

秋の京都をめぐる…………… 9

ゼミナール訪問 …………… 10

親の心配、子どものホンネ… 14

部活動&サークル Watching
…………… 15

学生イベント&スポーツ …… 16

大学施設紹介…………… 18

100円朝定食…………… 20

キャンパスインフォメーション
…………… 22



【写真】

- 1. 6. 9. 秋の衣笠キャンパス
- 2. 法学部の授業風景
- 3. スポーツ健康科学部の授業風景
- 4. 5. 秋のBKCキャンパス
- 7. 100円朝定食を食べる学生
- 8. 学園祭の様子

父母がめぐる

秋のキャンパス

—— 学園祭 2013 ——

赤や黄色に彩られたキャンパスで、今年も学生と父母に向けてイベントが多数開催されました。毎年報告している学部別懇談会とアカデミック京都ウォーキングに加え、今年は学生の力が結集する学園祭もご紹介。1回生の父母、衣笠夫妻と琵琶湖夫妻とともに、秋のキャンパスをレポートします。

年に一度のビッグイベント、 学園祭で学生文化に触れる

毎年学生のアイデアとエネルギーに溢れる学園祭。今年は11月2日(土)・3日(日)にBKCで、9日(土)・10日(日)に衣笠で開催されました。学生1人1人の個性を最大限に発揮し、そのパワーを世界へ向けていきたいという思いが詰まった今年のテーマは「世界よ、これが立命だ!」。学生の勢いを感じる、そんな立命館らしい学園祭を多くの父母の方に楽しんでもらおうと、今年は模擬店で使える500円券を父母の皆さんだけにご用意しました。

両キャンパスとも各日暗くなるまで行なわれましたが、最後まで多くの父母がキャンパス内をまわり、熱心に学生の企画を見入っていた様子。子どもたちの大学での学びや課外活動を、身近に感じる4日間となりました。



子どもたちの日頃の活動を知ることができるいい機会ね。500円券を使ってみたいな。

地域の人や私たちの来場を、歓迎する雰囲気があるのが嬉しいね。



衣笠さん 夫妻
法学部1回生の父母



琵琶湖さん 夫妻
理工学部1回生の父母

ひとりひとりの個性が発揮される学園祭で 学生たちの学びや興味を知る

BKCの学園祭では広大なキャンパスを活かしたダイナミックな企画が見もの。本格的なセットが組まれたステージの華やかなパフォーマンス、エンディングの花火に至るまでキャンパスには歓声が響いていました。また地域の方も出店する模擬店や来場者が参加してつくりあげる企画など、さまざまな人を巻き込んで盛り上げているのもBKC祭典の特徴です。サークル企画では、専門性の高い日頃の学びが伝わる展示物が目立っていました。

今年は体験型の企画もたくさん用意しましたので、家族みんなで楽しんでください。



学園祭実行委員長
金村 容典さん
法学部3回生

セントラルステージ



発泡ステージ



サークル企画



模擬店



模擬店・フリーマーケット

サークル企画実施場所

1 模擬店

2日間で約300店舗が出店した模擬店企画は、学園祭を大いに盛り上げていました。BKCでは学生だけではなく、近隣住民の方も出店しているのが大きな特徴。手づくりの小物がずらりと並べられた店は、学生のにぎやかな店とは違う落ち着いた雰囲気、じっくりとながめる父母の姿が見られました。また、フリーマーケットでは、学生とのコミュニケーションを楽しんでいる様子でした。



使用されたエコトレーは
父母教育後援会が支援

地域の方のお店にはかわいい小物がたくさん売ってるね。



2 立命館大学 EV-Racing ソーラーカーフェスティバル

太陽エネルギーを動力とした車やカート、電動バイクの製作を行っているEV-Racingの企画。鈴鹿サーキットで開催された世界最大規模のソーラーカーレースで走った車が展示され、その仕組みを学生が説明していました。試乗を行ったソーラーカートは、子どもたちに大人気。普段から地域の子供もたちにソーラーカーの魅力を伝える活動を行っているとのこと、慣れた様子で接していました。



ソーラーパネルを外した状態のソーラーカー

ソーラーカートは子どもでも簡単に運転できます



3 鉄道研究会 DISCOVER TEKKEN

ジオラマのなかを走る本格的な鉄道模型が目を引き展示スペースでは、さまざまな角度から鉄道の世界を表現。全国から取り寄せたという駅弁の販売や列車の運転シュミレーターコーナーもあり、子どもから大人まで多くの人でにぎわっていました。

模型列車を走らせ
運転士気分



4 ライフサイエンス研究会 世界のライサイ

科学を身近に感じるショーと展示の企画。果物・野菜などの食べ物や、重曹・クエン酸などの家庭にあるものを用いた科学実験は、異なる内容で1日11回行われました。学生たちのわかりやすい解説に、観客席から歓声が聞こえてきました。

科学ショー
「浮かぶシャボン玉」



5 丹後村おこし開発チーム 村猿

年間を通して丹後地方で田んぼ耕作、笹葺き家屋の再生などを行う団体の活動を紹介します。若者離れが進む地方に毎週出向き、現地の人と協力しながら手さぐりで学ぶ学生の姿に、父母も感心した様子でした。竹を削って箸を作る、ものづくりコーナーもありました。

地域づくり体験を通して
正課の学びも深められるのね。



6 ロボット技術研究会 ロボットヘヴン

学生が日々研究、制作を行っているさまざまなロボットを展示。実際にコンテストに参加しているロボットの操縦体験もできました。セグウェイのように重心移動で操作できるロボットは、特に人気。真剣にロボット研究に取り組んでいる様子が伝わる企画でした。

行きたい場所に
スイスイ移動
できます



7 雅楽会 雅楽の音色～千年の時を越えて～

雅楽の知識がない方に向けての解説付き演奏会は、和やかな雰囲気。投げかけられた父母の質問に、丁寧に答える学生の姿が印象的でした。演奏会の後は、楽器を試奏することもでき、興味深そうに手を取る父母の姿が見られました。

珍しい雅楽の
楽器を体験



学生ならではのアイデア
とパワーに溢れた企画ばかり。
応援団と花火が飾る盛大な
フィナーレも見ものでした。





11/9(土)・10(日)

限られたスペースに詰まった 多彩な企画の数々

衣笠は約90の
企画があるみたい。
いくつまわ
れるかな。



ステージのパフォーマンスだけではなく、文系学生ならではの個性的なサークル企画も印象的で衣笠の学園祭も多くの人でにぎわっていました。BKCの祭典に続いて訪れ、両キャンパスの違う雰囲気を楽しむ父母の姿も見られました。また京都市と協同して環境への取り組みを推進するなど、衣笠でも地域との関わりを大切にしているようでした。

父母の方には学園祭で学生さまざまな活動を見て、立命館の学生文化を感じてほしいです。



衣笠学園祭事務局長
森重 陽香さん
法学部3年生



1 TF SR-Kyoto 未来への展望台～カンボジア・スリランカへの扉～

国際NGOサークルであるTF SRが、カンボジアとスリランカで行っている事業を紹介。現地の問題を理解してもらうため、住居の様子などが再現されていました。数週間に渡る活動を日記にまとめた展示も印象深く、学生ならではの視点で国際問題を伝えていました。

現地で安全な
水をつくる
フィルターです



2 探検部 前人未到展

本格的な登山道具や測量器具が並ぶ展示スペースでは、これまで行った探検の報告もされていました。ただ探検するのではなく、山や洞窟の地形、生態調査などを行い大学の研究に結びつけているとのこと。日頃から訓練を重ね、万全の準備で臨んでいる様子がうかがえました。

ラフティングも
探検部の重要な
活動の1つ



3 環境啓発企画

バックで作った和紙に文字や絵をかき、それを灯籠にして灯し、エコを意識してもらう企画。あいにくの雨で予定されていた2日目の点灯は見送られました。多くのメッセージが集められました。この企画は父母教育後援会が支援を行いました。

「あなたに
伝えたいこと」が
テーマです



最後はライトアップ
された校内と華やか
なステージに彩られた
エンディングでした。



学園祭に参加しました！

子どものサークル企画を見ること、大学生の日頃の学びや活動を体感すること、大学の雰囲気を味わうこと…
学園祭に参加する目的はそれぞれですが、今年も多くの父母が4日間のイベントを楽しみました。今回初めてお配りした、
模擬店で使える500円券も大好評だったよう。両キャンパスでお会いした父母の皆さんに、感想をお聞きしました。



500円券でホットドッグや春巻きなどを購入。茶会では抹茶をごちそうになりました。



松永さん ご夫妻
(経営学部2回生)

いろいろな展示を見て模擬店で500円券を使い、学園祭の雰囲気を楽しみました。来年もまた来たいです。



澤村さん ご夫妻
(理工学部1回生)

2日連続で参加しましたが、放送局で活動する娘は忙しい様子。私はステージや展示などを見学しました。



石見さん
(経営学部2回生)

今日は妹と来ました。息子がライブに出る姿を見にきたのですが、雨で中止になったようで残念です。



湯浅さん(右)
(経済学部1回生)

学園祭は我が子の日頃の学びが知れていいですね。ボランティアサークルの活動などに感心しました。



和田さん ご夫妻
(経営学部4回生/情報理工学部2回生)

広島から来ました。イベント事業部の娘が担当する「ロストプリンセス」に参加して楽しみました。



沖田さん ご夫妻
(生命科学部1回生)



昨年に続き参加しました。娘のアカペラサークルのライブと書道展を見てきました。



大前さん ご夫妻
(産業社会学部2回生)

4年連続で参加した学園祭も、子どもが卒業するので今年で最後。展示では若者の文化に触れました。



高橋さん ご夫妻
(文学部4回生)



サークルを回るラリー企画に参加。準備を頑張っている様子を聞いていたので、雨で残念です。



溝口さん ご夫妻
(産業社会学部1回生)

娘のアカペラサークルライブを見に岐阜から参加。500円券で焼きそばなどを購入しました。



澤田さん ご夫妻
(文学部4回生)

ボランティアサークルを見ました。学生の皆さんが行っている活動がわかってよかったです。



山田さん ご夫妻
(情報理工学部2回生)

秋の学部別懇談会をめぐる

毎年11月に行われる学部別懇談会は、父母が日頃の学部での学びや進路・就職について知り、教職員に子どもの大学生活について直接質問できる貴重な機会です。天気にも恵まれたこの日、紅葉に色づくキャンパスに全国から父母が訪れました。

学部での学びと成長を知り、我が子の今後の学生生活をイメージ

春のオープンカレッジとは異なり、学部別に説明が聞ける懇談会は、全体会とグループ別懇談会の2部で構成。全体会で最初に各学部長からあいさつがあった後、学部での具体的な学びや学生の進路・就職状況について教職員から説明がありました。なかには、普段の学びをより身近に感じてもらうため、DVD上映やキャンパスツアーなどを企画した学部もありました。4回生や卒業生から学生生活や就職活動についての体験談が語られると、父母たちは感心したり驚いたりしているようでした。

続いて学科や専攻、回生ごとに分かれ、グループ別懇談会が行われました。教職員と距離の近い少人数の懇談会では、子どもの学生生活における心配や疑問について、父母から率直な意見や質問が聞かれました。懇談会終了後も、教職員に個別に相談する父母の姿や、隣り合った父母同士でお互いの子どものことを談笑する様子が見られました。父母と大学の交流だけでなく、父母同士の情報交換の場としても貴重な機会となったようです。



学部別懇談会に参加しました！

今年は両キャンパス合わせて、1,091名のご父母が参加。感想や参加された目的を、父母の方にお聞きしました。

春のオープンカレッジに続き、2人で参加しました。今回は学部の説明に加えて、学生の就職活動体験談が聞けてよかったです。



木田さん ご夫婦
(法学部2回生：石川県)

進路の説明などを聞くため、そして大学の雰囲気を知りたくて参加しました。来たのは入学式以来です。キャンパスの紅葉がきれいですね。



浜岡さん ご夫婦
(文学部2回生：三重県)

学生の体験談では、就職活動のときに親とどう関わっていったか、具体的な話が聞けてよかったです。今後の参考にしたいですね。



内田さん ご夫婦
(産業社会学部1回生：奈良県)

今後子どもが進路を定めるうえで、参考になるお話を聞ければと思います。懇談会が終わった後は、観光して帰ろうと思います。



前安さん ご夫妻
(情報理工学部1回生：北海道)

懇談会では就職状況や5回生の方のお話など、具体的な内容を聞くことができよかったです。子どもの進路が、なんとなくイメージできました。



桐原さん ご夫妻
(薬学部4回生：静岡県)

珍しい学部のため、子どもがどんな勉強をしているのかわからなかったのですが、懇談会やキャンパスツアーに参加し、不安は解消しました。



櫻木さん ご夫妻
(スポーツ健康科学部1回生：滋賀県)

詳しくは▶立命館大学父母教育後援会ホームページ <http://www.ritsumei.ac.jp/mng/fubo/> をご覧ください！

秋の京都をめぐる

秋の深まる京都を大学の教員や専門家、学生ガイドの解説とともに周る、アカデミック京都ウォッチングは毎年大好評。立命館ならではの多彩なテーマで11コースを設定し、京都の歴史や文化に触れてもらいました。今年は歴史ジャーナリスト丘眞奈美先生のガイドでめぐったコースをご紹介します。

京都聖地巡礼 —カリスマ陰陽師・安倍晴明公と陰陽道の世界—

大学で1時間ほど講義を受けた後、バスに乗り絶好の観光日和にめぐまれた京都のまちへ。最初に訪れたのは、紅葉の美しい寺としても知られる鈴聲山真正極楽寺真如堂です。病死した晴明が閻魔大王から助命される様子を描いた「安倍晴明公蘇生図」や、晴明の念持仏と伝わる不動明王像が安置される史跡で、住職からお寺と晴明にまつわる詳しいお話を聞くことができました。

続いて向かったのは、晴明が式神を封じた魔界スポットとして知られる一条戻橋です。数々の伝説を持つ橋に京都の歴史を感じつつ、すぐ近くの晴明神社へ移動。晴明が祀られている神社の境内では、出発前に講義で説明を受けた、陰陽道で魔除けの意味を持つ五芒星を至るところで目にしました。

西陣魚新で京料理を味わった後は、狂言大蔵流茂山あきら師から解説を受け、陰陽師が登場する狂言の舞台を觀賞。シテ・居杭役で立命館宇治高校狂言SAコース1年生・丘一誠さんも参加しました。京ことばで織りなすユニークな狂言の世界に、父母から笑いがこぼれていました。続いて訪れたのは、陰陽道のお堂として建立された大將軍八神社です。隣接する方徳殿で天球儀などの貴重な古い陰陽道の資料を観た後は、一条妖怪ストリートを散策。最後は京都考古資料館で古代の遺物に見入りました。参加した父母にとって京都と陰陽道、安倍晴明の深い関わりを実感できた1日となりました。



ルート

- 10:00 立命館朱雀キャンパス集合・講義・出発
- 10:20 鈴聲山真正極楽寺真如堂
- 11:35 一条戻橋・晴明神社
- 12:40 昼食
狂言のお話と上演
- 14:50 大將軍八神社参拝と方徳殿見学
- 15:20 一条妖怪ストリート散策
- 16:00 京都考古資料館
- 17:30 京都駅八条口
- 18:15 立命館大学衣笠キャンパス

人気のパワースポットです

陰陽道で方位を護る神を祭祀

平安時代の遺物を多数展示

参加しました！

今年も全国から父母が集まりました。ツアーに参加された方の声を、一部ご紹介します。

狂言と西陣魚新のご飯を楽しみに参加しました。予約がすぐいっぱいになってしまうので、今年は第一希望のコースに参加できてよかったです。



池田さん ご夫妻
(法学部3回生：岡山県)

以前参加してとてもよかったので、今回もこれを機会に京都を訪れました。深い話を聞かせてもらえる、すばらしいツアーですね。



大石さん ご夫妻
(情報理工学部卒業生：福岡県)

先生のガイドが付いた貴重な観光ツアーですね。娘が和太鼓サークルで訪れたという大將軍八神社に連れてよかったです。来年も参加したいです。



竹崎さん ご夫妻
(国際関係学部1回生：北海道)

参加したのは4回目です。私(夫)は卒業生で京都に住んでいましたが、初めて行く場所や発見がたくさんあり、おもしろかったです。



高塚さん ご夫妻
(情報理工学部4回生：静岡県)

BKC
スポーツ
健康科学部

後藤一成ゼミ

運動するのは、食事の前と後、どちらの方が効果がある？
後藤ゼミでは、誰もがふと抱くトレーニングに関わる疑問を「科学」のテクニックを用いて検証し、ひも解いた事実から新たな提案を行うことを目指しています。

スポーツ健康科学部は、やりたいこと(研究)をするために努力すれば、必ずチャンスがくれます。

後藤ゼミで学んで、トレーニング科学が社会に及ぼす影響について興味がわきました。

自分のやりたいこと、気になる研究を自ら組み立てて実験できることが実践的で、やりがいを感じます。

後藤先生と話すと自信が付き、やる気が出ます！

ゼミ生 voice

後藤先生は、授業も研究も、人気・実力ともに立命館トップクラスです！

意識が高く、刺激し合える仲間がいるから楽しいです。最先端の研究に関わることができ、学部生でも興味のある研究に自由に取り組むことができます。

自分が行動すれば、スポーツに関する多彩な学びができます。

ゼミではプレゼンテーションをする機会が多く、人前で話すことへの抵抗が少なくなり、就職活動にも役立ちました。

ゼミスケジュール

3回生

前期：グループ研究のテーマ選定、研究方法の習得

後期：グループ研究、プレゼンテーション

4回生

前期：卒業研究のテーマ選定

後期：卒業論文の作成



研究から導き出された結果を現場に還元

「どのようなトレーニングをすればスポーツ選手の体力が向上し、それによって競技成績が伸びるのか」「どのような方法で運動を行えば脂肪は燃えやすくなるのか」。このゼミでは、競技力向上と健康増進に関わるトレーニングの効果を研究しています。目標とするのは、緻密に計画された研究から得られた結果を基に、現場に対して合理的なトレーニング法を提案していくこと。例えば、短期間でのダイエットを目指す場合、筋力トレーニングの後に有酸素運動を行うというプログラムがフィットネスクラブなどでは推奨されています。現在一つの知見として現場で取り上げられているこのプログラムも、これまでに私が取り組んできた研究結果が根拠の1つとなっています。

スポーツ健康科学はまだ新しい学問領域ですが、トレーニング法や栄養学だけでなく、教育や心理学、マーケティングや経済学もあり、従来の体育学という領域ではアプローチできなかった範囲にまで広く目を向けることが可能です。

「理論と実践」を実現した学び

私のゼミはまさに「理論と実践」を実現する場です。トレーニング科学に関する基礎知識を身につけ、それをふまえてトレーニングメニューを計画し、実践する。さらに、そこから得た知識を、言葉を介して効果的かつ魅力的に他者に伝える力も鍛えます。ゼミでは、プレゼンテーションを中心とした座学の時間と並行して、実験を通して生理・生化学的な分析手法も学びます。

ゼミ生はグループに分かれてテーマを決め、授業外でも研究を進めます。なかには研究者の目からみても質の高い、独創的な研究もあります。学生が進めているテーマには、キャンパス内にある「低酸素室」を利用して、球技や陸上の短距離といった、一般的に高地（低酸素）トレーニングが取り入れられていない競技の選手に対する低酸素トレーニングの効果を検証するものもありますが、研究の結果、このトレーニングが有効であることが分かりました。現在この研究をさらに進めています。

結果次第では、科学的な根拠を持った新たなトレーニング方法として現場に提供できる可能性が大きくなるのです。

「科学」を楽しむことから、多様な分野で応用できる力を手に

科学の面白さ・魅力は、未知のものに対してアプローチしていくところだと思います。学部ゼミでの研究は最終的にゴールにたどりつけなくてもいい、けれどチャレンジすることを求めています。分からないことに対して仮説を立てて証明するというのは、学生にとっておそらく初めて取り組むプロセスだと思います。しかし、このプロセスは、社会で必要な「問題解決力」につながるものです。私がゼミの学びを通して学生たちに身につけてもらいたいのは、トレーニング科学に関する専門知識そのものというよりは、「計画→検証→伝達」という研究の一連のプロセスで必要となる問題解決力と論理的思考です。これらは卒業後、どのような分野に進んでも必ず応用することができる実践力です。

4年間はあっという間です。この時間を有効に使って、スポーツでも研究でも自主サークルでも、なにか1つ、いや、できれば2つ（笑）、やり抜いて欲しい。やり抜けば自分に対する自信が生まれます。また、今は必要ないと思うようなことでもしっかり取り組んでいけば、それは必ず自分がやりたいことへと繋がっていくものです。



後藤 一成 ごとう かずしげ
スポーツ健康科学部・准教授

2004年筑波大学大学院体育科学研究科博士課程修了後、日本学術振興会特別研究員として、筑波大学、東京大学、デンマークにて研究に取り組む。その後、早稲田大学スポーツ科学学術院・助教を経て、2010年より現職。博士(体育科学)。



ゼミはプレゼン力を身につける場にもなる



体力測定などの実験はゼミ生が協力して行う



夏休み中の合宿では国立スポーツ科学センターや企業を訪問し、スポーツ科学の最先端に触れた

衣笠
法学部

税法ゼミ (望月爾ゼミ・安井栄二ゼミ)

多いときで70人近くを抱える望月・安井ゼミ。生活の身近に存在する税を法律的視点で学びながら、ディベートで論理的思考力、プレゼンテーション力を身につけていきます。

立命館出身の安井先生から、自らの体験を踏まえたアドバイスをいただくことができます!

ディベートで話す訓練を繰り返したことで自信につながり、就活の際にとっても役に立ちました。

ディベートを通し論理的に考える力が鍛えられ、話す力・聞く力などのコミュニケーション能力も高めることができました。

グループワークを通してチームの結束力が高まります。

ゼミ生 voice

望月先生は教育熱心で学生に細やかな指導をしてくださいます!

ディベート大会では4回生が3回生のサポートをするので縦のつながりも強く、進路のことなどさまざまなことを教えてもらうことができます。

仲の良さと団結力はピカイチ。税法ディベート大会4連覇中です!

税法は民法や憲法、会社法など多くの法律と接点を持つので、経済を含めた世の中のさまざまな動向に興味を持てるようになりました。

ゼミスケジュール

3・4回生

前期: 各ゼミで税法をテーマとしたプレゼンテーション、レポート

後期: ディベートの演習



税法を通じて社会のあり方を知る

「税」というと経済や会計などがイメージされやすいですが、実際は税法条文の法律的な解釈が重要となる分野です。そして税は私たちの生活に密接に関わっていますから、税法の知識を深めると、私たちをとりまく社会も見えてくるのです。

他大学と行っているディベート大会では、テーマを過去の税務訴訟から選んでいますが、事件当時の時代背景がわからないと議論はできません。たとえば今回のディベート大会のテーマの1つに「サラリーマンマイカー訴訟（最判平2.3.23）」があります。これは昭和40年代の事件。税負担を議論するうえで、「当時のサラリーマンにとって自家用車が生活に必要な資産であったか？」がポイントとなってきます。それを判断するためには当時の税法だけでなく、自家用車の普及率、車の物価水準や平均年収、生活スタイルなどすべて昭和40年代の社会のことを調べなくてはなりません。税を知るとということは、時代や社会を理解することなのです。

時代を反映する税ですが、今なお税法は法学においてメジャーな分野というわけではありません。しかし世界を見ればグーグルやアップル、スターバックスなどの多国籍企業への課税が国際的問題となるなど、税法の立法や適用のあり方は社会の新たな流れ、時代の価値観を表していることもわかります。普段の生活で税を意識することはあまりないかと思いますが、私たちも十分税の影響を受けているのです。例えば、安さが人気の「第三のビール」。本来のビールの税率は約40%ですが、「第三のビール」は酒税法上のビールの材料を使わずに製造し、税負担を下げたもの。このように身近にある税から、税法に興味を持つゼミ生は多いようで、それをきっかけに世の中の動きにも敏感になっていくのだと思いますね。

ディベートはあらゆる能力を高める場

このゼミの特徴としては、ディベートを経て税法の知識だけではなく、論理的思考力やコミュニケーション能力を身に付けられることも挙げられるでしょう。他大学と競い合うディベート大会を年に2回、また若手税理士とのディベートの場も設けており、ゼミで何ヵ月もかけて事前

準備、プレゼンテーションや質疑の練習などを行います。ディベートは納税者側と税務署の立場である課税庁側に分かれてお互いの主張を行います。1つのディベートを終えたらすぐに逆の立場の主張を始めなければならない、頭を即座に切り替える必要があります。頭の回転の速さや論理性、税法に加え会計や経営などの幅広い知識が求められるのです。ディベート大会では専門の研究者や税理士などの税の専門家が審査をしますので、実務的な視点や明解性がないと評価を得ることはできません。納税者側においては納税感覚も求められますし、多角的な視点を養うことができると思いますね。このようなレベルの高いディベートを経て、学生たちは大いに成長していきます。

またディベートの練習で4回生が3回生の指導を行うなど、このゼミは縦の結び付きが強いのも特徴。ディベート大会の調整やゼミの運営などもすべて、学生同士で協力しながら行っています。法曹や税理士、会計士などの実務家となったOB・OGを招いて、進路や就職のアドバイスをもらう企画なども定期的に開催していますし、ディベートを通じて他大学とも関わりますので、幅広く交流を深めることができます。他のゼミに比べ、ゼミの準備に時間をとられて内容もハードと学生に言われますが、その分社会人に必要なさまざまなスキルを磨ける実感もあるようです。何ごとにも好奇心を持って視野を広げ、卒業後はここで得た知識と能力を活かし、社会で活躍して欲しいと思います。



望月 爾 もちつき ちか
法学部・教授

慶応義塾大学法学部法律学科卒業。静岡大学大学院法学研究科修了。監査法人朝日新和会計社（現・あずさ監査法人）に6年間ビジネス・コンサルタントとして勤務。静岡産業大学経営学部講師を経て、本学法学部に赴任。趣味は、古文書とサッカーや野球などのスポーツ観戦。



本物の京都地裁の陪審法廷を移築した末川記念会館でディベートの練習



ディベート途中の作戦会議で気持ちを1つに



制限時間内に話すことも求められる能力

学生生活を
支える

親の心配、子どものホンネ。

子どもが社会に飛び出していくための大事なステップとなる大学生活は、父母にとっては子どもの成長を見守る最終ステージです。4年間の生活のなかで、父母と子どもの思いは知らない間に重なり合ったり、離れたりを繰り返していくことでしょう。普段はなかなか伝え合うことのない、親と子の心のうちを語っていただきました。

親 三輪 滋さん
幸世さん

子 三輪 雄一朗さん (法学部 4 回生)
羽月さん (法学部 3 回生)



親の声

大学は“親ばなれ子ばなれ”する時期 お互い自立しながらも助け合える親子へ

父 息子がたまにうちに帰ってきて、私の知らない法学などの知識を話すのを聞いたときに、成長しているのかなと感じます。大学に入って特に親子関係が変化したとは思いませんが、たまにしか会わない分、多くのことを話し合えるようになった気がしますね。



私自身の親が放任主義だったので、私もこれまで子どもたちを手助けしすぎず、自分たちで考えて決めさせるようにしてきました。そのうえで、必要ならばアドバイスをし、親としての意見を伝えてきたつもりです。息子の就職に関しても口出ししませんが、本人は自分なりに考えて就職先を決めた様子。今後も深く干渉しませんが、卒業後は社会や人の役に立つようなことをして欲しい、そのことを親として切に願っています。それが働くうえでも、本人のモチベーションにつながっていくのではないのでしょうか。親子といっても個々の人間なので、子どもたちが社会に出ていくにつれて更に親子共々自立しつつ、どこかでつながっている、そしてお互いを思いやれる関係でありたいですね。

母 息子と娘は京都で1人暮らしをしており、普段どんな生活を送っているのか詳しくはわかりません。しかし大学での学びや活動で、少しずつ変化しているのを感じます。特にもともと消極的な性格だった娘がハワイ大学に留学をしたあと、家族でハワイを旅行しましたが、現地の方と堂々と話している姿を見て、成長を実感しました。

昔と違って、今は携帯ですぐ連絡がとれる時代。コミュニケーションアプリを家族4人で使って、連絡をとりやすくしていますが、それでも携帯の文字や絵だけでは本当の体調はわからないので、母親としては心配なことも。そういう時は、私も子ばなれしなくてはいけないのだと感じ



じます。遠くにいても、困ったときは支え合えるように、それでいて自然体な親子関係でありたいですね。自分の人生を振り返っても、大学卒業後はあっという間に時間が過ぎていくもの。就職や結婚など大きなできごとが待っている今後、子どもたちには自分の人生プランをきちんと考え、後悔しないように行動して欲しいと思います。

子どもの声



会社法のゼミをとっているので、企業の知識を深めて就職活動に役立てることができたと思います。就職先は悩みましたが、長男としての意識もあり、地元の企業を選びました。親子で違う考えを持っていても、合わせるのではなく個々の意見を尊重することで、親子関係は深まっていくのだと思います。

兄の影響もあって立命館に入学し、初めての1人暮らし。自分で料理や家事をするようになって、母親が毎日違う料理を作ってくれたことのありがたみや、日々助けられていたのを感じました。理想の親子関係は“つかずはなれず”。でも言いたいことはきちんと伝え合える親子でありたいです。



部活動 & サークル Watching

第2回

立命館大学には、何百種類もの部活動 & サークルがあります。このコーナーでは世界で活躍を見せる実力派から独自路線をいく個性派まで、さまざまな団体の活動を紹介していきます。第2回目は立命館の伝統を受け継ぎ、学内外へと魅力を放つ部活動取材しました。

競技ダンス部

【部員数】約60人(男約30人:女約30人)【活動場所】衣笠:やまびこくらぶ※大学近隣施設(木) / BKC: リンクススクエア2F リブスペース(火金)【活動時間】火金18:00~【雰囲気】男女みんな仲よし【目標】全大会、全日本戦での団体優勝【PR】大学で新しいことを始めたい方におすすめの部活です!



部員同士の仲の良さが強みの笑顔溢れるダンスチーム

男女でペアを組んでダンスを行い、表現力や技術力を競い合う競技ダンス。大きく分けてモダンとラテンの2種類があり、ペア8組で1つのダンスを踊る競技もあります。踊っている姿は優雅ですが、練習に臨む姿は真剣そのもの。ペア間の仲の良さも重要であるため、部員みんなであそびに出かけたりし、コミュニケーションを大切にしています。60年以上続く歴史ある部を更に盛り上げ、大会での優勝を目指します。



左/6月の全開戦モダンの部 下/同大会ラテンの部



上、左下/学園祭での公演 右下/BBQなどで交流を深める

部長からひと言

みんなが息を合わせてダンスができるよう、部内の雰囲気を良くすることも部長の仕事。大会は月に1、2度開催されるので忙しいですが、部員の交流する機会を積極的に設けています。

中島 大貴さん
情報理工学部3年生



親子・部活

能楽部

【部員数】16人(男4人:女12人)【活動場所】衣笠:学生会館5F BOX520 / BKC: リンクススクエア2F 表現練習場【活動時間】火金授業後【雰囲気】ほのほの【目標】学生を始め色々な方に能を親しんでもらう【PR】伝統芸能を受け継ぐ1人になれます!



学生だからできることを大切に能の魅力伝えていきたい

全国の大学で唯一、校内に能舞台を組んで学生能を行う創部84年の能楽部。学生を始め多くの人に能を身近に感じてもらうと、毎年春にはかがり火の明かりの下で薪能を披露しています。過去には琵琶湖の水上に舞台を設置し、薪能を行ったことも。小中学生に向けて能のワークショップも開催しており、学生能ならではの柔軟性と親しみやすさを活かし、伝統芸能の普及に力を注いでいます。



左/学園祭での公演 下/公演会場に展示されたさまざまな能面



上、右下/学園祭での公演 左下/11月に行われた立命館

部長からひと言

学生能が、皆さんにとって能の世界に触れるきっかけになればと思います。今は囃子方だけプロの方をお願いしているのですが、今後は舞台上の全員が学生の能を行うことが目標です。

坂井 順亮さん
文学部3年生



学生イベント&スポーツ

SPORTS

【問い合わせ先】スポーツ強化センター：075-465-7863

女子陸上競技部

第31回全日本大学女子駅伝対校選手権大会で3年連続8回目の優勝

[10月27日 宮城県仙台市]

第31回全日本大学女子駅伝対校選手権大会において、女子陸上競技部が3年連続8回目の優勝を果たしました(2度目の3年連続優勝は同大会史上初の快挙)。レースでは、1区の大森菜月さん(スポ健1)がトップに立つと、そのまま6区まで首位を守り、最後は青木奈波さん(スポ健1)が2時間3分2秒で優勝のゴールテープを切りました。立命館大学の選手たちは、全6区間中5区間で区間賞を獲得しました。



【各走者の結果()内は区間成績】

第1区 大森菜月 20分22秒(1位) / 第2区 菅野七虹 17分39秒(1位)
第3区 藪下明音 21分59秒(1位) / 第4区 廣田麻衣 15分48秒(1位)
第5区 津田真衣 30分02秒(3位) / 第6区 青木奈波 17分12秒(1位)

ホッケー部

第62回男子全日本学生ホッケー選手権大会で2連覇を達成

[10月18日～23日 埼玉県飯能市阿須運動公園ホッケー場ほか]

第62回男子・第35回女子全日本学生ホッケー選手権大会において、ホッケー部男子が2012年に続き優勝、女子が3位入賞を果たしました。ホッケー部男子は、トーナメント戦を勝ちあがると、準決勝では朝日大学に快勝し、決勝に進出。決勝の天理大学戦では、大橋雅貴さん(法2)が決めた先制点を堅守し、1-0で優勝を果たしました。今大会の最優秀選手には、主将である堀谷広大さん(文4)が選出されました。女子は準決勝で惜しくも山梨学院大学に1-2で敗れたものの、聖泉大学との3位決定戦を3-0で快勝しました。



相撲部

山中未久さん(スポ健2)が第2回スポーツアコードワールドコンバットゲームズの相撲競技(軽量級:65kg未満)初優勝 [10月18日～26日 ロシア・サンクトペテルブルグ]

「第2回スポーツアコードワールドコンバットゲームズ」の相撲競技(軽量級:65kg未満)において、山中未久さん(スポ健2)が、初出場で初優勝を果たしました。同大会軽量級での優勝は日本人初の快挙となります。相撲競技では、世界18カ国から77名の代表選手が出場。山中さんは、予選から準決勝まで海外の選手との3試合を戦い全勝。決勝では2013年7月の世界大会で敗れていたロシアの選手に寄り倒しの技で勝ち、悲願の初優勝となりました。



※スポーツアコードワールドコンバットゲームズについて

国際オリンピック委員会(IOC)承認団体のスポーツアコードが主催する格闘競技の世界大会。4年に1度の開催で、第2のオリンピックとも言われている。実施された競技は、合気道、ボクシング、フェンシング、相撲など15競技で、世界中から各国の代表選手が集まった。

Windward

板底雄馬さん(スポ健3)が2013年度全日本学生ボードセイリング選手権で2連覇を達成

[11月15日～18日 沖縄県国頭郡宇間海岸沖]

2013年度全日本学生ボードセイリング選手権において、板底雄馬さん(スポ健3)が優勝を果たしました。Windwardの主将である板底さんは、昨年の同大会優勝に続く、2連覇を達成しました。8月に開催された伊勢湾カップ、9月に開催されたテクノ293全日本選手権においても優勝しており、全日本クラスの選手権3連覇も達成しました。ウインドサーフィンはオリンピック競技となっており、2014年のリオデジャネイロオリンピック出場を目指した板底さんの今後の活躍が期待されます。



ラグビー部

関西大学ラグビーAリーグで12年ぶり3回目の優勝

[9月29日～11月30日 近鉄花園ラグビー場ほか]

関西大学ラグビーAリーグにおいて、ラグビー部が12年ぶりに3回目の優勝を果たしました。全勝対決となった第4節の京都産業大学などに勝利したものの、第5節の関西学院大学戦では惜しくも敗れました。しかし、最終節の天理大学戦で54-21で勝利し、関西大学ラグビーAリーグ優勝を決めました。この結果を受けて、ラグビー部は、第50回全国大学ラグビーフットボール選手権大会セカンドステージ(2013年12月8日～2014年12月12日)への出場を決めました。



イベント & スポーツ

CULTURE/ART

【問い合わせ先】学生オフィス：075-465-8167

将棋研究会

香川愛生さん(文2)が女流王将のタイトルを獲得 ～立命館大学生で初のプロ将棋のタイトルを獲得～

[10月23日 東京将棋会館]

第35期霧島酒造杯女流王将戦(主催：囲碁・将棋チャンネル)三番勝負において、挑戦者の香川愛生さん(文2)が、通算成績を2勝1敗で里見香奈女流王将に勝利し、女流王将のタイトルを獲得しました。香川さんは、立命館大学将棋研究会に所属するとともに、日本将棋連盟所属の女流棋士として活躍しています。



囲碁研究部

山下寛さん(産社4)が 第50回日本学生囲碁十傑戦で初優勝

[11月16日、17日 東京 日本棋院]

第50回全日本学生囲碁十傑戦(主催：朝日新聞社)において、山下寛さん(産社4)が初優勝を果たしました。3回戦、準決勝と劣勢に立たされる厳しい局面もあったものの、勝利を収め決勝に進出。早稲田大学の加畑陽一さんとの決勝では、終盤までもつれる展開を制しての優勝となりました。前回大会では柳田朋哉さん(文2)が優勝を果たしており、立命館大学の学生が2年連続してタイトルを獲得しました。12月23日から開催される団体戦の全日本大学囲碁選手権においても、囲碁研究部は連覇に挑みます。



保健センター

学生の体と心の健康を多角的にサポート

学生や教員の健康をサポートする保健センター。学生にとっては、春の定期健康診断で最初に接する施設です。センターの中に診療所を併設して診察を行っているほか、学生に合わせて健康面のアドバイスをしています。なかでも喫煙者には禁煙相談窓口を、女子学生には女性内科医師によるレディース外来を開設。個別の相談以外にも、複数名で取り組む禁煙プロジェクトなども企画しています。

また、結核をはじめ感染症対策にも力を入れており、はしかや新型インフルエンザの流行時には感染拡大防止のため、調査、予防接種、休校の判断などさまざまな対策を行っています。2007年にはしかが流行した際には、父母教育後援会から資金援助を受けて、学内で集団予防接種を行ったこともあります。

最近では留学生のために英語版の健康ハンドブックを作成するなど、1人でも多くの学生の健康をケアしていこうと取り組んでいます。



衣笠

各キャンパス
10数名のスタッフで
対応しています



BKC

● DATA ●
所在地：[衣笠] 志学館1F
[BKC] ウェストウイング1F
時間：月～金
9:30～17:00
HP：<http://www.ritsumei.ac.jp/mng/gl/hoken/>

こんな事をしています！

診療・健康相談

数名の医師が常勤し、内科・精神科の診療を行っています。保険証を持っていれば、保険診療も可能です。また健康相談は医師のほか、看護師や保健師などたくさんのスタッフで行っています。



上/ BKC 保健センター受付
右/ 衣笠保健センターの診察室



禁煙相談

今年度から大学敷地内が完全禁煙となったことを受け、健康診断時に喫煙者全員を面接して卒煙をよびかけています。保健センターではニコチンパッチの配布を含む禁煙相談を随時行っています。



上/ 衣笠保健センターの告知ボード
右/ 看護師や保健師が禁煙相談を行います



健康診断証明書の発行

大学で行われる定期健康診断の結果にもとづき発行されます。また就職用の健康診断証明書は、東京や大阪梅田を含む全キャンパスにある自動発行機で発行が可能です。



保健センター
スタッフ

各キャンパス
に設置されて
いる証明書自
動発行機

健康ハンドブックの配布

保健センターの利用の仕方や健康に関するさまざまな知識が記載された冊子は、毎年新生入生に配っています。大学近隣の医療機関も案内しているため、下宿先で体調を崩したときにも強い味方となる一冊です。



保健センターホームページで
全ページのPDFが
ご覧いただけます



学生の皆さん1人1人と向き合って、健康管理のお手伝いができたらと思います。健康診断などの機会に禁煙をすすめたり、生活習慣を改善するアドバイスなどを行っていますが、いつでも健康相談は受け付けていますので、体や心に少しでも異変を感じたときは保健センターに来て欲しいです。

学生サポートルーム・特別ニーズ学生支援室

学生生活の悩みを一緒に整理する場所

学生1人1人が自分らしい学生生活を送るためには、悩みや不安と自立して向き合う手助けが必要になる場合があります。

学生サポートルームでは、「誰かに相談したい・話を聞いて欲しい」という気持ちを、まずは学生オフィスのスタッフが伺います。ご本人の希望に応じて、カウンセラー（臨床心理士）によるカウンセリングや居場所のきっかけをつくる交流の場、グループワークや各種企画、その他学内相談窓口などをご紹介します。

一方、特別ニーズ学生支援室では、発達障害などに起因する学修上の課題に、学生自身が取り組む手がかりを掴むことを目指したサポートをしています。コーディネーターが相談にのりながら、学生が所属する学部事務室、その他関連教職員とも連携し、正課を中心とした大学としての学びの場に参加できる環境づくりをすすめています。



落ち着いた部屋で
リラックス
できます



● DATA ● 学生オフィス内
所在地：【衣笠】研心館 2F
 【BKC】セントラルアーク 1F
時間：10:00～17:00
HP：http://www.ritsumeai.ac.jp/ssr/

こんな事を行っています！

個別相談

正課や正課外の学びを通じて自分の世界を自力で広げていく大学生活には、悩みや不安がつきものです。方向性を見出せるよう、学生オフィスのスタッフ・カウンセラー・コーディネーターと一緒に整理していきます。

●こんな相談にのっています●

*学生サポートルームのカウンセリングでは原則として秘密は守られます

友人・家族・恋人など 人間関係について

- ・クラスやサークル仲間との関係づくりが難しい
- ・気の合う友達がいらない
- ・家族や恋人関係など誰にも相談できない悩みがある

学業・進路について

- ・勉強への意欲がわからない
- ・授業についていけない
- ・時間管理がうまくできない
- ・将来が漠然としていて不安

生活・体調・気分について

- ・初めての1人暮らしが不安
- ・朝起きるのがつらい
- ・なんとなくやる気が出ない
- ・ネットに依存してしまう

自分の性格について

- ・自分を見つめ直したい
- ・他人の評価が気になる
- ・自己アピールがうまくできないようにになりたい

グループワーク・各種企画

学生同士が集い、交流を深める場として、グループワーク・各種企画を定期的開催しています。同じような仲間と語り合う中で、自分の困りごとや気持ちを整理し、自分らしい学生生活を送ってもらうことが狙いです。

これまでに行われた企画

- ・定期試験準備相談会
- ・単位僅少者のための学修相談会
- ・高回生の出合いの場
- ・留学生の交流企画
- ・ヨガワークショップ



学生オフィススタッフ



左／BKCのカウンセリング室
下／本の種類も豊富です



学生生活は自分自身を成長させていく大切な時期。そのような時期だからこそ友達や家族に話しにくい悩みや漠然とした悩みを抱えて困ることもあるでしょう。何をどのように相談したらよいか分からない場合であっても、まずはお子様に気軽に学生オフィスを訪れるよう、背中をひと押ししてもらえたらと思います。

父母教育 後援会の 支援報告

100円朝定食が衣笠、BKC

来年度から父母教育後援会の支援により、両キャンパスで提供される予定となっていた本格実施の開始を12月に早めるほど学内外に大反響をよんだ100円朝定食について、そ

大好評につき前だおしで 12月から本格スタートへ

10月21日～11月1日の2週間、BKCユニオンスクエアにおいて100円朝定食の提供を行いました。これは朝ごはんを食べない学生が多い実態を受け、父母教育後援会が1人でも多くの学生に生活リズムを整えてもらおうと考案したもの。既存の260円の朝食メニューの差額分を父母教育後援会が負担し、ワンコイン朝定食の販売を実現しました。

1限目の前に食べられるよう、8時15分～40分の時間限定で販売された定食に、初日からたくさんの学生が詰めかけ、多い日で通常の約3倍の学生が利用しました。栄養バランスが考慮された定食の中身は、ライスとみそ汁、小鉢のおかず3品。小鉢は焼き魚やほうれん草のおひたし、温泉卵、ひじき、コロッケなどの9品から選べ、そのうち3品は日替わりとなっているなど、毎日来ても飽きないような工夫もされています。100円でパンやおにぎりを買うよりも栄養バランスがよいと、学生は大絶賛。これを機にきちんと朝ごはんを食べる習慣をつけたいという声を受け、来年度4月からの実施予定を早め12月から本格導入することになりました。

ずらりと並ぶ
9種類の小鉢の中から
3品選びます



choice!!

ライスS
+
みそ汁
+
おかず3品
(焼き魚、温泉卵、
オクラ)

朝ごはんを毎日の習慣にするため、 学生の食事情を調査し実体を把握

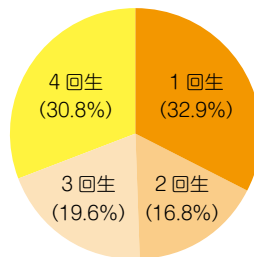
学生の食生活が乱れていることを問題視しているのは、父母だけではありません。100円朝定食をきっかけに学生の食生活を考えるため、学生自治会が朝ごはんを食べに来た学生を対象にアンケートを行いました。

アンケート結果を見ると、100円朝定食を利用した学生は比較的1～4回生のバランスはいいものの、やはり下宿生が多く利用しているよう。大学生になって1人暮らしを始めたことで、朝ご飯をきちんと食べなくなった学生が多いと推測されます。また自宅生からは、家を出る時間が早いため朝ごはんを食べて来られないという声も聞かれ、すべての学生にとって100円朝定食の必要性があることもわかりました。

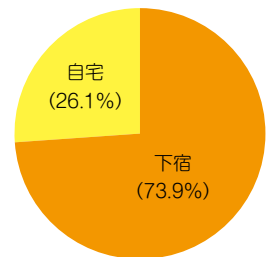
また朝ごはんを食べる習慣のない学生の約65%が、今回食堂で食べた理由を「100円朝定食が始まったから」としており、学生の生活リズムを整えるきっかけとしての効果が期待されます。

〈100円朝定食利用学生へのアンケート〉

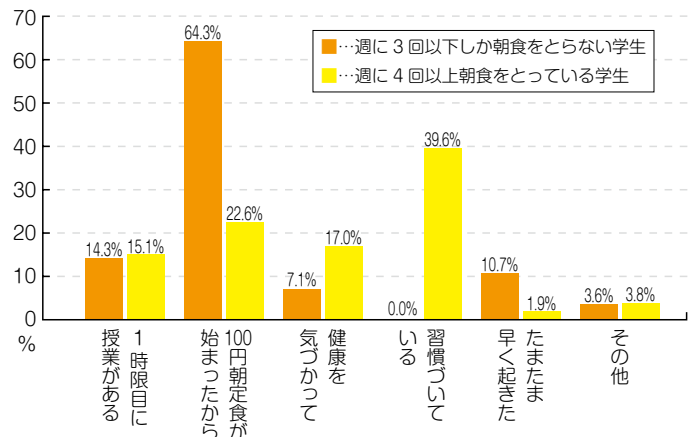
●利用者回生●



●利用者居住形態●



●100円朝定食を食べる理由●



両キャンパスにてスタート!

100円朝食。それに先立ち、10月にBKCで期間限定の試験販売を行いました。の概要と学生の声をご紹介します。



100円朝食を利用しました!

100円なのにボリュームがあり、食べて満足感があります。9種類から選べるのが楽しいですね。



サークルの合宿明けに来ました。下宿生にとってもすごくいいですね。今後も実施してほしいです。



1人暮らしなのでたまにしか朝ごはんを食べていませんが、100円朝食なら続けて食べたいです。



2人とも2回目の利用。昨日は研究で大学に泊りました。小鉢は健康的なものばかりで大満足です。

朝だけじゃない!
地域の方々の協力により
昼食も充実!!

BKCのお昼をにぎわす ランチストリート

お昼時になるとBKCのキャンパス内にワゴンが何台も登場し、学生や教職員にテイクアウト用のお昼ご飯を販売しています。お店は日によって変わり、お弁当にサンドウィッチ、カレー、タコスなどメニューもさまざま。こだわりの詰まった手づくり料理を買おうと、学生たちが行列をつくっています。



留学生や教職員などからも人気(上)
2種類のタコス(右)



世間でも大反響! 初日の様子をテレビ局教社が取材

プレオープンから新聞やインターネットで話題となった100円朝食。12月2日の本格スタート初日には衣笠とBKC、合わせて4社のテレビ局が取材に訪れました。なかには、特集を組んで報道した番組もあったほど。当日は父母教育後援会の香川県委員の葛上さんが駆けつけ、取材に対応しました。大学生の食環境を改善して生活習慣を見直すきっかけとなる取り組みに、世間が注目しています。

授業前に栄養バランスのいい朝ごはんを100円で食べられることで、下宿している学生を持つ父母の方々も安心するのではないのでしょうか。1日の始まりに朝ごはんを食べることはとても大切です。息子にもぜひすすめてほしいですね。



父母教育後援会 香川県委員
葛上さゆりさん

学生・学園の取り組み

企業との共同研究デザイン住宅が「グッドデザイン賞 2013」を受賞

理工学部・宗本研究室の大学院生、岩井宏樹さん（理工研2）と中川洋輔さん（理工研2）がデザインに関わった住宅が「グッドデザイン賞 2013」を受賞しました。この住宅は、地域に根付いた企業と大学が連携し、地元の定住者を増やして街の活性化に繋がる住宅を提案することが大切であると考えて発足したプロジェクトにより建てられました。生活に合わせて1～4LDKで使うことができる建物は特殊な工法を使わずに在来工法を使用し、地元の一般的な工務店や大工の技術で施工を可能にしたことで地域産業の活性化を促すことも狙いとして持ち合わせています。



「宇治茶スイーツ店マップ」を 経済学部寺脇ゼミの学生たちが発行

経済学部寺脇ゼミに所属する有志の学生39名が、宇治市の観光を盛り上げるために、宇治市役所商工観光課からアドバイスを受けながら、宇治茶スイーツを扱う19店舗をパンフレット形式のマップにまとめた「宇治茶スイーツ店マップ」を作成し、10月21日に発行しました。このマップは、宇治茶料理や宇治茶スイーツがもたらす観光便益（観光を楽しむことの価値）の大きさを、トラベルコスト法を用いて経済学的に検証し、それを基に作成しました。9,000部発行され、学内および京都駅ビル2階の「京都総合観光案内所（京なび）」などに設置される他、東京や広島などでも配布を予定しています。



漢字探検隊 通算 100 回を突破 この秋も各地で開催

11月2日、茨城県つくば市のサイエンスインフォメーションセンターで「第10回つくば漢字探検隊—土木と災害に関する漢字の秘密を探れ」（主催：漢字を楽しむ会 遊、協力：立命館大学白川静記念東洋文字文化研究所他）が開催されました。「漢字探検隊」とは、動物や植物、神、建物など毎回1つのものをテーマに漢字とそれとつながった事物と一緒に学ぶ体験型漢字講座です。2007年から始まり、これまで全国13都府県で開催、通算回数は100回を突破しました。10月には「立命館災害復興支援活動」の取り組みとして、福島・宮城・岩手3県を訪問し、各地で多くの人たちが集まりました。



レディー・ガガの新作アルバム盤面に 北岡明佳・文学部教授のアート作品が採用

北岡明佳・文学部教授が作成した「錯視」のアート作品が、11月6日に日本で先行発売されたレディー・ガガさんの新アルバム『アートポップ』の盤面やトレイ下部分に採用されました。この作品は、2008年に北岡教授が考えたガンガゼというもので、放射状に描かれたウニの刺のような静止画が、錯視の効果で浮き出てくるようにガクガクと動いて見えるのが特徴です。今回のアルバムのアートワークを担当したジェフ・クーンズ氏やガガさん側から9月に「作品を使用したい」と、北岡教授へ使用の依頼があり、新作アルバムの盤面やトレイ下部分での採用が決まりました。



課外活動施設「アクトα」竣工式を開催

11月1日、BKCにおいてクラブ・サークル等課外活動団体の活動施設「アクトα（アルファ）」の竣工式を開催しました。アクトαは、これまで活動場所が分散していた理系の研究・ものづくり活動を行う団体をひとつの場所に集約することを目的に新設されました。学生施設ということもあり、学生目線を取り入れるために、建築都市デザイン学科の学生たちで組織されるサークル団体・Design Factory（デザインファクトリー）が施設のデザイン・設計に携わりました。学生がデザインや設計に関わることは、立命館大学では初の試みです。



「+R 個人奨励奨学金 学びの コミュニティ集団形成助成金成果報告会」を開催

11月28日に衣笠キャンパス諒友館地下食堂 ROSSO で、11月29日にびわこ・くさつキャンパスラルカディアで「+R 個人奨励奨学金 学びのコミュニティ集団形成助成金成果報告会」を開催しました。「+R 個人奨励奨学金」「学びのコミュニティ集団形成助成金」は、従来型の成果や結果への報奨だけではなく、学生たちがこれからの目標、目的にチャレンジするプロセスを支援するために2012年度より創設された制度です。今回の成果報告会では、昨年採用された学生たちが1年間の取り組みの成果を発表しました。ポスターセッションやグループディスカッションでは、活動を通じて身につけたものを共有しました。両キャンパス合わせて、学生や教職員など約200人が参加しました。

メールマガジン「立命館 CLUB」の登録のご案内

在学生ご父母の15人に1人が登録されています

「立命館CLUB」は立命館大学の教育・研究活動や学生たちの活躍を、より多くの方へ伝えるための情報配信サービスです。会員登録(無料)すると、月2回メールマガジンが届きます。どなたでもご登録いただけます。お子さまがご卒業された後も受信可能です。

例えば、こんな情報が届きます！

いま活躍している
学生・団体、教職員への
インタビュー記事

全国各地で開催される
公開講座・学生イベント・
スポーツなどの日程を
ご案内

毎号オリジナルグッズ
などの読者プレゼントが
あります



登録方法

パソコン・携帯どちらからでもご登録いただけます。



右のQRコードを使うと、
簡単に登録できます。



“立命館 CLUB”で検索し、ホームページに
アクセスしてください。

立命館 CLUB

問い合わせ
先

立命館 CLUB 事務局

TEL 075-813-8118

受付時間 月～金曜日(土・日・祝休) 9:00～17:30

読者の声

- ・離れて暮らしているため、子どものところにはなかなか行けませんが、メールマガジンが来ると京都に行った気がして子どもと少し繋がっている気がします！
- ・細かい事を話さない息子のかわりに、大学の様子をいち早く知ることができます。
- ・保護者としての希少な「接点」に感謝です！！
- ・読者プレゼントもウキウキしながら待っています。
- ・息子が卒業しますが、今後もメルマガを送ってくださいね。

入試案内

2014年度一般入学試験、1/6(月)～出願開始！

全国31都市で受験が可能な立命館大学の一般入試。1/6(月)～出願受付を開始します。立命館大学各キャンパス・立命館プラザの窓口では、願書を無料で配布しています。

入試の最新情報は、「リツネット」にアクセス！！



ネット出願
志願者速報(2014年1月～公開)
願書の書き方
など、お得なコンテンツが
満載です。



スマホアプリ
「リツネット」
無料配布中！！

併願・受験料チェック、試験地ナビ、イベント検索など、立命館大学の一般入試に役立つコンテンツが無料のスマートフォンアプリになりました。

メールマガジン随時配信

問い合わせ
先

立命館大学入学センター

TEL 075-465-8351

受付時間 月～金曜日(土・日・祝休) 9:00～17:30

事業報告・計画書

「2012年度事業報告書」および「2013年度事業計画書」のご案内

学校法人立命館の「2012年度事業報告書」および「2013年度事業計画書」を発行しています。大学ホームページでも閲覧可能です(http://www.ritsumeiji.jp/profile/a08_j.html)。なお、冊子をご希望の場合は、下記の事務局宛にご希望の冊子名、冊数とお名前、送付先、電話番号をご記入の上、FAXにてお申し込みください。

問い合わせ
先

学校法人立命館 事業計画課

〒604-8520

京都市中京区西ノ京朱雀町1番地

TEL 075-813-8244

FAX 075-813-8252



衣笠キャンパス

2014 年 3 月 21 日 (金・祝)

[会場] 京都衣笠体育館 (明学館西側) ※卒業生のみ
[父母中継会場] 以学館 1 号・2 号ホール

第 1 回 (10:00 ~)	法学部、政策科学部
第 2 回 (12:00 ~)	産業社会学部、国際関係学部
第 3 回 (14:00 ~)	文学部、映像学部

びわこ・くさつキャンパス

2014 年 3 月 22 日 (土)

[会場] BKC ジム
[父母中継会場] プリズムホール

第 1 回 (10:00 ~)	理工学部、情報理工学部、 生命科学部、薬学部
第 2 回 (13:00 ~)	経済学部、経営学部、 スポーツ健康科学部

- 式典は厳粛に執り行います。時間に余裕を持って入場してください。(開式 10 分前までに必ずご着席ください。)
- 衣笠キャンパスの学位授与式は、収容定員の関係で京都衣笠体育館は卒業生のみとなりますので、父母の皆さまは中継会場の以学館 1 号・2 号ホールへお越しください。
- びわこ・くさつキャンパスの式典会場の父母席は、数に限りがございます。式典会場にお入りいただけない場合がございますので、ご了承ください。なお、式典会場の父母席が満席となった場合は、中継会場のプリズムホールにご案内させていただきます。
- 中継会場では、映像により学位授与式の模様をご覧いただくことができます。
- 本学には駐車場はございませんので、公共交通機関でご来場ください。
- お問い合わせは、所属学部事務室までお願い致します。

メールサービスのご案内

メールアドレスの登録をお願いします!

父母教育後援会からのお知らせや、学生の課外活動での頑張りなど、タイムリーな情報をメールでお送りしています。メールアドレスをまだご登録されていない方はぜひご登録下さい。

[登録方法]

- 1) 情報を受け取りたいメールアドレスから、下記の内容を入力していただき pasear@st.ritsumei.ac.jp 宛てに送信してください。
タイトル: メール登録希望
本文: ①会員番号(会報等の宛名ラベル右下に記載された 11 桁の数字)
②お子さまの学部・回生・氏名
- 2) @st.ritsumei.ac.jp のドメイン指定受信を許可してください。
(迷惑メール対策をされている方は、メールを受け取れないことがあるため。)

PASEAR (パセアール) とは

父母教育後援会の英語表記「Ritsumeikan University Parents Association of Student Education Assistance」、これらの頭文字をとって作成したロゴマークを PASEAR (パセアール) と命名しました。

PASEAR とは、スペイン語で「散歩する」を意味します。

正課・課外活動に励む学生たちの成長を、四季折々の季節を散歩するかのような穏やかな心持で見守る親の姿を表現しています。

※このロゴマークは、映像学部の 2012 年度卒業生がデザインしました。



父母教育後援会ホームページのご案内
<http://www.ritsumei.ac.jp/mng/fubo/index.htm>

立命館大学のホームページからは…
「保護者の皆さまへ」▶「立命館大学父母教育後援会」をクリック

■会員の住所変更について

本誌は、学生が学部へ届け出ている保証人住所宛に送付しています。保証人住所を変更される場合は学生本人による手続きが必要です。各学部事務室 (BKC 所属の方は学びステーション) まで学生証を持参の上、手続きするようお子さまにお伝えください。

※最近、立命館や関係団体等の名前を利用した悪質なビジネス等が横行しております。父母教育後援会は、会員の照会を学外には一切行っておりませんので、くれぐれもご注意ください。



立命館大学父母教育後援会だより 2013 年度 冬号

2013 年 12 月発行 立命館大学父母教育後援会

〒604-8520 京都市中京区西ノ京朱雀町 1 Tel.075-813-8261 Fax.075-813-8262